

会員寄稿

測量設計業界に入って感ずること

株式会社新日本コンサルタント

都市デザイン部都市計画グループ 金子裕美

東京の大学を卒業後、新卒で入社し3年目になりました。今は、公園設計、都市計画の部署に所属し、いくつかの業務を担当しています。

建設コンサルタントは、公共工事の設計や、住民の生活に深く関わる様々な都市計画に携わることができ、「地域に貢献する」ことへのやりがいを感じることが出来る仕事であると感じています。

やりがいがあると感じる一方、担当する業務が増えてくるに従って、幅広い知識が不足していることを痛感しています。

1. 建設コンサルタント業界を志望した経緯

建設コンサルタントを志望するきっかけとなったのは、学生のときに参加したインターンシップでした。

そこでは、大学で建築学を専攻していたことから、都市計画や公園設計に関わる部署でお世話になり、業務の作業補助や、施設の老朽度調査、プロポーザル提出用の模型作成等に関わらせてもらいました。

インターンシップの期間は1週間と短い期間でしたが、土木の専門的な知識やノウハウを活かして働いている姿に憧れを感じました。

また、業務の取り組み方については、関わる人たちが意見交換をしながら、協力して仕事をしている雰囲気の魅力を感じました。

そこでの経験は今でも鮮明に残っており、そのような環境で、業務の担当者としてリーダーシップを発揮しながら仕事をする姿が、将来の

私の理想像になっています。

2. 仕事を通じて感ずること

3年間の仕事を通じて、担当する業務を実施する上で、設計の重要なポイントとなる部分を見つけることの大切さに気づきました。

これは、10年ほどかけて順次整備している近隣公園の実施設計を通じて気づきました。

設計の内容は、整備済み区画の整備状況を踏まえつつ、今回整備する区画をどのように計画するか、また、公園内に整備する電気設備、給水設備等について、今回計画する内容が整備済みの各施設的能力内で納まるか、について検討をするものでした。

検討の際に、全体がうまく収まるように繰り返し計画を見直す中で、次第にどこの部分が設計のコントロールポイントになるのか分かるようになり、設計の最も大事な箇所を見極めることの大事さに気づきました。

これは、設計計画だけではなく、業務の進捗や工程管理にも同様なことが言え、業務の大事な箇所を見極めることで、クライアントに対してよいものを提案することができ、効率よく業務を行うことができていると感じています。

また、実施設計の一部に、年度内に工事を行う予定になっている公園の園路と花壇が含まれていたため、設計図書を提出してから、2、3ヶ月後には工事が完了し、供用されているのを見ることができました。

とても慌しい業務でしたが、自分が作成した

図面が実際に形になることで「地域に貢献できている」ことを実感することができ、大きなやりがいを得ることができました。

通勤ルート沿いに設計を担当した公園の工事現場があるため、今年度工事が着々と進んでいる様子を見ながら通勤することが、最近の楽しみになっています。

担当する業務が増えてくるに従って、設計に対する責任や重さを感じ、私自身の仕事の仕方に対して、技術的な知識の不足と、計算ミス、数字の読み取りミス等基本的な部分のミスの克服が課題であると感じています。

技術的な知識の不足については、わからないことはわからないままにせず、その都度解決し、知識を蓄積していくことが大事であることが、3年間働いている中でわかりました。

また、計算ミス、数字の読み取りミス等、基本的なミスに関しては、セルフチェックを確実にを行うことや、必ず誰かに再チェックしてもらう等、業務を一人で行わないことを心がけています。

提出する資料に間違いがないことは、顧客の信頼度の向上に繋がるので、ミスがおきやすい箇所は特に意識してチェックし、基本的な部分のミスの早期克服を実行しています。

3. 富山県、N i Xで働くことの魅力

私は長野県長野市出身であり、就職活動で富山県を訪れるまでは、旅行やドライブ等でも富山県に来たことがありませんでした。

縁もゆかりもない私が、富山県で働くこと決めた理由は、平成27年に予定されていた北陸新幹線開通が大きく影響しています。

長野市のまちは、新幹線開通がきっかけでまちの雰囲気が大きく変わったと感じています。

寂れていた長野駅周辺に対して、自治体や民間企業、N P O、近隣住民等の活躍により、再開発事業の実施や、門前町の資源であった蔵の

商業利用による再活用等が行われ、新たな賑わいが生まれています。

平成27年以降、新幹線が開通する北陸は、長野のまちで行われたような、新たなにぎわいを創出するための都市計画事業や、まちづくりに関わる仕事等、たくさん仕事に触れることができるかもしれないと考えています。

就職活動中、N i Xは、地方の企業では珍しく都市計画の部署があり、小水力発電事業や環水公園見晴らしの丘でのプロポーザル選定等の取組みを行っていること知り、挑戦的な企業だと興味を持っていました。

また、富山市がコンパクトシティ構想に関連する都市計画の先進的な取組みをしていることに将来性を感じ、富山市に本社があるN i Xで働きたいと思っていました。

実際に働いていると、わからない点や不安な箇所があるときは、気軽に上司や先輩と相談しながら進めることができ、思ったことを自由に言い、相談できる環境が魅力的であると思います。

加えて、設計対象地と会社が近いために、設計したものに対して非常に愛着が沸き、地域に貢献できているというやりがいを感じることも魅力の一つであると思います。

4. 将来の展望

N i Xは、今年東京本社を開設し、首都圏へ市場を拡大しています。大学、大学院在学時に6年間住んでいた、なじみの深い土地にも関わるきっかけができ、期待が高まっています。

また、今担当している業務を通じて、発注者やグループ内から信頼される技術者になり、将来、故郷である長野県内の仕事にも携わりたいと考えています。

日々の業務の中で自己研鑽に取組み、技術者として成長できるように努めることで、第一線で働き続けたいと思います。